

1年「むかしばなし・みんわ」

	書名	著者名	出版社	内容
1	日本むかし話 かちかちやま	瀬川康男 絵 松谷みよ子 文	フレーベル館	たぬきを やっつけようとする うさぎと、たぬきの おはなし。「うさぎどん、かちかち いうのは なんだべな。」「かちかちやまの かっちんどりが ないているのさ。」「うさぎどん、ぼうぼういうのは なんだべな。」「ぼうぼうやまの ぼうぼうどりが ないているのさ。」「…うさぎは、ちえを しぼって、 どんどん たぬきを やっつけていく。
2	日本むかしばなし ねずみのすもう	いもとようこ 文・絵	金の星社	でかねずみとのすもうに かてないちびねずみ。 それをみた おじいさんは、たいせつにとっておいた もちごめで、もちをつ かって たべさせてやり、おうえんする。や がて、こころやさしい おじいさんのもとへ はこばれてきたものとは？
3	せかいむかしばなし8 ブレーメンのおんがくたい	三越左千夫 文 草間俊行 絵	フレーベル館	としをとって、のうかのしゅじんに おいだされそうになった ロバは、ブレーメンのおんがくたいに やとってもらおうと、 いえからにげだした。とちゅう、ころされ そうになった、いぬ、ねこ、おんどりにあ い、いっしょにいくことにした。ロバたち は、よる、もりのなかで、どろぼうのいえを みつけた。そこには ごちそうが！…
4	にぎりめしごろごろ	小林輝子 再話 赤羽末吉 画	福音館書店	昔、きこりのじいさまが、にぎりめしを地蔵様に供えると、地蔵様にお堂の天井に隠れるように言われました。やがて夜中、大勢の鬼がきて酒盛りを始めました。じいさまが「コケッコー」と叫ぶと…。
5	スーホの白い馬	大塚勇三 再話 赤羽末吉 画	福音館書店	貧しいけれど働き者の羊飼いの少年スーホ。草原で拾った白い子馬を一生懸命に育てるのだが…。少年と馬との悲しくも美しい民話。